

手伝い役員用

第 63 回

女 子 部 記 録 会

令和 7 年 5 月 5 日
於 明治神宮至誠館第二弓道場
東京都学生弓道連盟

第 63 回女子部記録会

手伝い役員要項

仕事分担

招 集 : 専修 2 名

的前審判:【前射場】法政 4 名、中央 4 名

【後射場】桜美林 4 名、早稲田 4 名

看的表示: 國學院 2 名

警 備 : 慶應義塾 2 名、上智 2 名

大会進行予定

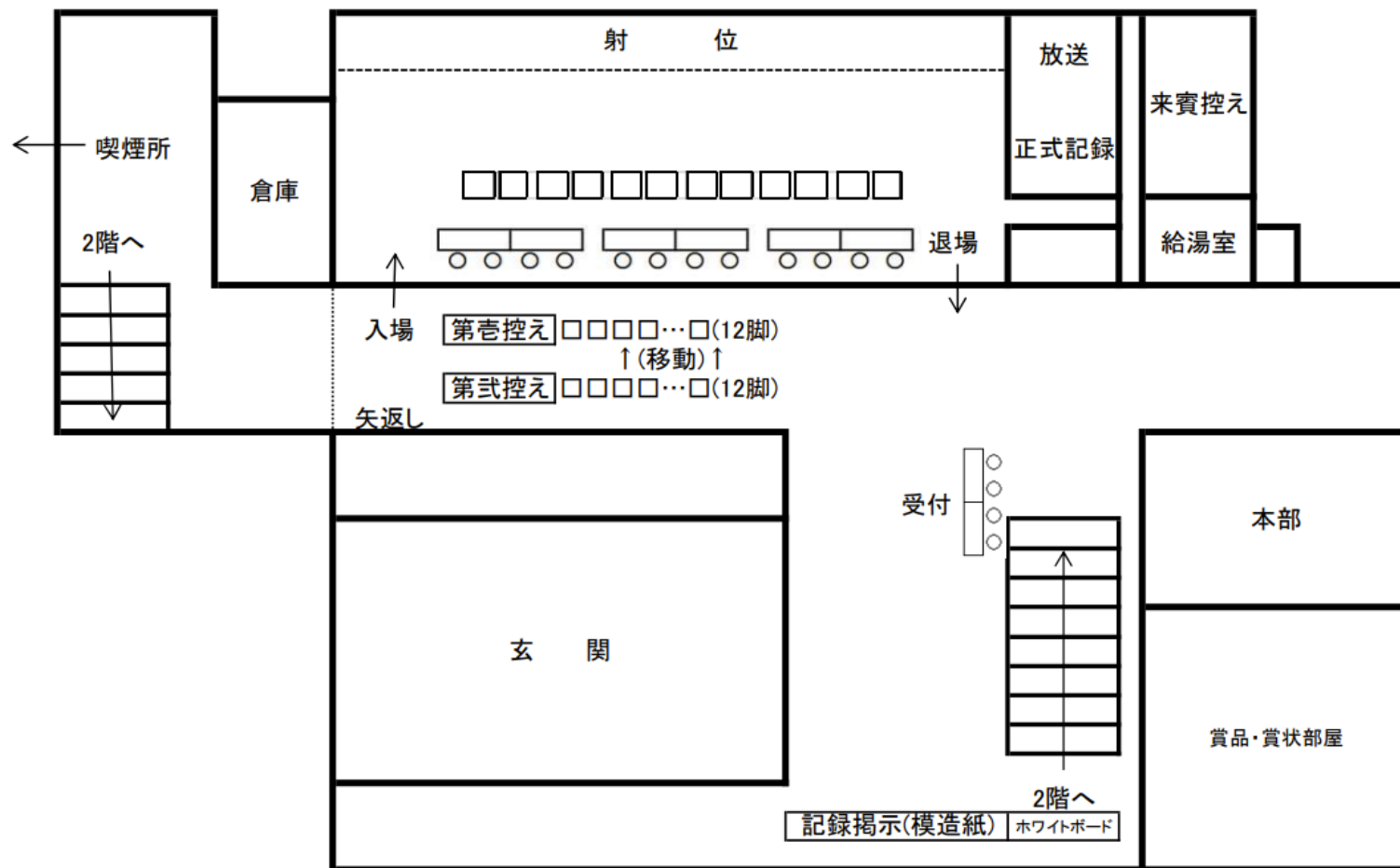
7 : 3 0	手伝い役員集合
7 : 4 0	選手受付 (～ 8 : 0 0)
8 : 1 0	開会式・矢渡し
8 : 4 0	行射開始
1 6 : 0 5	行射終了
1 6 : 4 5	納射・閉会式

※上記は予定である。進行に気を付けて余裕を持って動くこと。

注意事項

- ・ 集合時間 (07:30) を厳守すること。点呼を取り、仕事の説明を行う。
- ・ ネームプレートを左胸に付けること。
- ・ ネームプレートは持ち帰らずに返却すること。
- ・ 撤収作業後に点呼を取るなので、勝手に帰ることを無いうにすること。

至誠館見取り図



第63回百射会・女子部記録会 手伝い要項

<招集>

<手伝い役員>

- ① 第1控え（射場裏の椅子）で立順番号と大学名、氏名を読み上げて確認する。
欠席者の席は、詰めずに空ける。
- ② 確認が出来たらその旨を学連役員に報告する。

<学連役員>

- ① 初立のみ、注意事項を伝える。

選手：

- ① 立射、射込み形式
- ② 欠席者の的は、詰めずに空ける
- ③ 控えでは立つ、跪座しない
- ④ 合図に従って、射位に進み、行射を開始
- ⑤ 引き終わり次第、そのまま出口へ退場（揖は省略）
- ⑥ 退場する際は、控えの選手の後を通る
- ⑦ 退場口付近にとどまらない

介添え：

- ① すべての選手が入場した後に続いて入場
- ② 選手の後ろにある椅子に着席
- ③ 前の椅子が空き次第、空いた椅子に移動
- ④ 介添えをする選手の退場に続いて退場
- ⑤ 的中に異議がある場合は、すぐに役員に申し出る

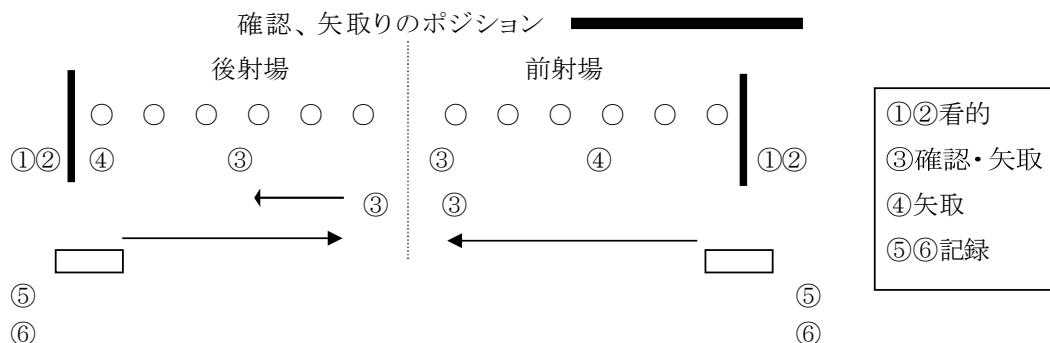
※注意事項は必ず徹底させる

※入退場口付近では静かにしてもらい、複数人で固まったりしないようにさせる

- ② 本座選手が射位に入ったら第1控えを整列させ、選手の誰かが一手引き終えたら本座に入れる。

第 63 回百射会・記録会 手伝い要項＜的の前審判＞

的裏は看的 2 人、記録 2 人、矢取 2 人の計 6 人で行う。(交代 2 人)



看的

前射場 6 的、後射場 6 的の的の中をそれぞれの射場の的中表示板で表す。

※射込み形式なので注意して看的する。

※的の中表示板は下から上に使う。

※的の中が分かり辛い場合、そのままにし、学連役員に伝える。

※間違った的の中を出した場合、そのままにし、学連役員に伝える。

※表示と確認が異なる場合、学連役員が訂正するのでそれまで表示には触らないこと。

※学連役員の「矢取りお願いします」の合図で的の中表示をもとに戻す。

確認・矢取

① 学連役員の合図が出たら的前に出る。

② 看的側の的から確認する。

※確認が終わるまで絶対矢に触れない。

※全ての的の確認の後、前射場は 6 的の後ろ、後射場は 3 的の後ろに座って待機

③ 確認が終わり学連役員が「矢取りお願いします」と言ったら矢を取る。

④ 矢を拭く。

矢取

① 確認が終わったら矢を取る。

※確認が終わるまで絶対矢に触れない。

② 矢を拭く。

③ 各射場の矢立に矢を返す。

記録

的の的中表示板が見える所での的の中を言う。

※的の中は○×方式で言う。(1○、4×、…)

※射込み形式なので注意して記録する。

※的の中は自分の目で見て確かめる。

※的の中が分からないものは学連役員に判断を仰ぐ。

的中表示板のやり方

×	×	×	○	×	○
○	○	×	×	○	○
○	○	×	○	×	○
○	×	×	×	×	○
6	5	4	3	2	1

← 1本目

(四ツ矢を引き終わった状態)

* 的中は下から順に 1 本目、2 本目…とする。
 一手の場合は 1 本目と 3 本目の表示板を使います。

確認時に表示ミスが発覚した場合

×	×	×	○	×	○
○	○	×	×	○	○
○	○	×	○	×	○
○	○	×	×	×	○
6	5	4	3	2	1

学連役員が訂正するので合図があるまで待機。

6	5	4	3	2	1

訂正がない場合

×	×	×	○	×	○
○	○	×	×	○	○
○	○	×	○	×	○
6	5	4	3	2	1

表示を戻す。

6	5	4	3	2	1

※ 間違えていた的中表示板しばらく残しておき、「矢取りをお願いします」の合図での的中表示板を戻す。

立	ゼッケン番号	大学名	選手氏名	フリガナ	学年
1	1001	早稲田大学	首藤菜那	シュトウナナ	4
	1002	中央大学	高野美那	タカノミナ	4
	1003	東京農工大学	黒澤真秀子	クロサワマホコ	2
	1004	立正大学	水野晴香	ミズノハルカ	2
	1005	青山学院大学	矢野結理佳	ヤノユリカ	2
	1006	東京都立大学	飯森あずさ	イイモリアズサ	3
	1007	國學院大學	三原優希	ミハラユウキ	2
	1008	東京外国語大学	山田実乃里	ヤマダミノリ	3
	1009	日本女子大学	伊藤麗菜	イトウレイナ	3
	1010	東京科学大学	馬場咲帆	ババサキホ	3
	1011	東京大学	小島りん	コジマリン	3
	1012	東京農業大学	吉池莉唯	ヨシイケリイ	2
2	1013	立教大学	北郷亜香里	キタゴウアカリ	2
	1014	慶應義塾大学	守屋美咲	モリヤミサキ	4
	1015	東京理科大学	平林実莉	ヒラバヤシミモリ	3
	1016	明治学院大学	宮川蒼依	ミヤガワアオイ	3
	1017	国土館大学	和田愛梨	ワダ アイリ	3
	1018	一橋大学	上野百優	ウエノモユ	3
	1019	専修大学	佐藤真珠	サトウシズク	3
	1020	帝京大学	岩瀬美穂	イワセミホ	3
	1021	明星大学	長内菜和	オサナイナオ	3
	1022	日本体育大学	鈴木優杏	スズキユウア	4
	1023	日本大学	田中咲妃	タナカサキ	3
	1024	桜美林大学	須藤なつみ	ストウナツミ	4
3	1025	明治大学	齋藤 和音	サイトウ ナオ	2
	1026	早稲田大学	橋本萌花	ハシモトモエカ	2
	1027	玉川大学	岩田のぞみ	イワタノゾミ	3
	1028	学習院大学	高橋花怜	タカハシカレン	3
	1029	成蹊大学	菅沼千尋	スガヌマチヒロ	2
	1030	上智大学	中川心優	ナカガワミュ	3
	1031	創価大学	中務瑞希	ナカツカサミズキ	4
	1032	青山学院大学	中村美咲	ナカムラミサキ	2
	1033	日本女子大学	濱田莉那	ハマダリナ	3
	1034	日本女子体育大学	濱野友萌	ハマノユメ	4
	1035	中央大学	三浦季保	ミウラキホ	2
	1036	法政大学	三橋結子	ミツハシユウコ	4

4	1037	東京農業大学	山口栴	ヤマグチモミジ	2
	1038	東京大学	今若広美	イマワカヒロミ	4
	1039	日本体育大学	茂野愛	シゲノマナ	3
	1040	芝浦工業大学	長生奏音	ナガイケカノン	3
	1041	東京都市大学	小山奈々	コヤマナナ	3
	1042	國學院大學	永嶋まい花	ナガシママイカ	2
	1043	東京都立大学	片桐陽那	カタギリヒナ	3
	1044	立正大学	松重香穂	マツシゲカホ	4
	1045	明治学院大学	宮嶋かのせ	ミヤジマカノセ	4
	1046	工学院大学	豊田陽菜	トヨダヒナ	2
	1047	立教大学	吉田琴音	ヨシダコトネ	3
	1048	日本大学	千明望々	チギラノノ	4
5	1049	桜美林大学	佐野華	サノハナ	2
	1050	法政大学	渡部栞奈	ワタナベカンナ	4
	1051	日本女子体育大学	竹林紗良	タケバヤシ サラ	4
	1052	東京海洋大学	小山珠海	オヤマ タマミ	3
	1053	東京理科大学	平居希々佳	ヒライノノカ	2
	1054	専修大学	増田帆夏	マスダホノカ	3
	1055	学習院大学	山下美咲	ヤマシタミサキ	3
	1056	創価大学	武田真依	タケダマイ	3
	1057	電気通信大学	宮崎史名	ミヤザキシイナ	2
	1058	東洋大学	新里真帆	シンザトマホ	3
	1059	慶應義塾大学	渡邊菜々美	ワタナベナナミ	3
	1060	明治大学	加藤ほの美	カトウホノミ	3

大会中における地震発生時の対応について

第63回女子部記録会 於 明治神宮至誠館第二弓道場

本大会中に地震が発生した際の、当連盟の対応です。地震発生時の混乱、事故等を防ぐためにも、予めみなさんにご理解いただければと思います。特に、選手の方は、行射・記録に関わる記述もありますので、必ず競技開始前までに目をお通しください。

学生弓道連盟役員一同、よりよい大会となるよう努めますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

災害対応担当：東京都学生弓道連盟 女子部委員長 宮部 杏菜

1 地震の大きさと大会続行基準

※以下、気象庁発表の地震情報(東京23区)による。

① ～震度3 (屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる程度)

行射中止→揺れが収まり次第行射再開(その場で待機)

② 震度4 (歩いている人のほとんどが、揺れを感じる程度)

行射中止→ 施設等の安全確認 → 安全確認ができ次第行射再開(再入場)

⇒地震情報(地震の規模・交通情報等)が入り次第、放送にて連絡

③ 震度5弱～(行動に支障を感じる程度)

大会中止→放送・学連役員の指示に従い矢道に一時避難

⇒人員確認を行い、後の指示は明治神宮側に委ねる

2～

4～

2 地震発生時における「引き直し」処置

学連役員による放送指示を基準に、その時点で打起し以降の方は引き直しの対象とします。

※放送による行射の妨げがなされたとし、引き直し・的中(放送指示の瞬間に離れを出していた場合)に関わらず、当該の矢から引き直していただきます。

※「打起し」の基準は、本弭が左膝頭を離れた瞬間とします。

※介添えの方は必ず予備の矢をお持ちください。

放送指示に従い、引き直しの対象となった矢を含め、行射を再開してください。→3～

3 行射中における放送指示と対応

○携帯電話を介して緊急地震速報を受信した場合／揺れを感じた場合

放送「行射を中止してください。」

只今、緊急地震速報を受信しました。／地震が発生しております。

また、次の取懸けをお待ちください。」

〈射場〉ただちに取懸けをやめ、打起し以降の方は安全のため、必ず引き戻してください。

〈控え〉落ち着いてその場で待機しててください。

○揺れが収まり、安全を確認

放送「(～震度3)揺れが収まりましたので、／(震度4)施設の安全が確認されましたので、
行射を再開してください。」

〈射場〉引き直しの対象となった矢を含め、行射を再開 してください。→詳細は **2**へ

※射場記録 引き直しの対象となった矢の的中を記入してしまった場合、赤ボールペンで訂正してください。

4 大会中止・一時避難の流れ

行 射 中 止

放送「只今大きな地震が発生しております。行射を中止してください。」

○施設の安全確認

○地震情報確認

※混乱を防ぐため、指示が出るまではその場で待機してください。

矢 道 に 避 難

放送「矢道に避難してください。引き続き地震による揺れにご注意ください。」

○矢道に誘導

○選手控え室等、屋内確認(学連役員)

人 員 確 認

放送「大学ごとに、現在会場にいる人数を確認し、学連役員に報告してください。」

※選手・介添え・手伝い役員・見学者を含め、会場にいる全員の人数を報告してください。

○地震情報・交通情報確認

明 治 神 宮 側 の 指 示 に 随 時 従 う

※明治神宮は災害時の広域避難場所に指定されています。